

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	若宮園グループホーム
日付	平成18年1月17日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 特別養護老人ホーム等での認知症高齢者介護歴7年
<a href="#">自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)</a>	
<a href="#">事業所のコメントを見る (評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)</a>	

外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人施設の協力で、定期的に、内科・歯科・精神科なども含めた医療的管理がされています。</li> <li>・法人施設が同一敷地内にあります。それぞれの施設と連携をし、利点を最大限に活かしながらサービスを提供しています。入居者の介護度が高くなってもホームでの生活が継続できたり、法人施設への移動などが可能です。</li> <li>・法人の常務理事とグループホームの管理者は、十分に意見交換ができており、グループホームの様々な提案に対し、法人は積極的に対応をしています。</li> <li>・管理者は、適材適所の人員配置を提案し、法人も考慮しています。また、人材育成についても配慮し、職員が勉強したり働きやすい環境を整えています。</li> <li>・入居者や家族の思い・希望を汲み取り、グループホームでの生活に活かせるように努力をしています。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<p>要改善の項目はありませんでした。今後は、さらに次のことが充実できるよう期待します。</p> <p>・これからは、特別養護老人ホームでも、ユニットケアのような個別のケアが中心になってくると考えられます。グループホームで培った知識や技術が、法人施設の中でもケアに活かされるよう、情報の発信源として役割を果たされるよう期待します。</p>

運営理念

番号	項	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が「今までの暮らしが継続できること」、「どんな場面でも自分で決定権を持つこと」、「自分の力や可能性が発揮できること」を目標として、生活のそれぞれの場面で実現できるよう支援しています。</li> <li>・法人施設の医療スタッフと連携をし、身体状況がより良い状態になるように配慮しています。</li> <li>・自由でのびのび、ゆっくり、穏やかに生活できるようにと考え、支援しています。入居者自身に納得して行動してもらえるよう、ゆっくり待つ姿勢を大切にしています。</li> </ul>			

ケアサービス(つづき)

番号	項	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりの力や経験を尊重し、その方ができることを発見し、得意な面が出せるように支援をしています。例えば、家事が苦手な調理では活躍の場がない方には、得意な習字の腕を活かし、日々の献立を掲示板に書く役割を持ってもらうように工夫し、他の入居者から、調理に参加しないことを責められることのないように配慮しています。さらに、今までできなかったことにもチャレンジしていただき、新たなことができた喜びを持ってもらうように取り組んでいます。</li> <li>・個々の記録類は、鍵のかかるロッカーに保管しています。法人の広報誌に写真などを掲載するときには、本人や家族に必ず同意をもらうようにしています。</li> </ul>			

生活空間づくり

番号	項	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周リや空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの好きなことを把握しており、落ち着かないときには、好きな歌と一緒に歌ったり、本を読んだり、テレビを観るなど、気分転換が図れるように配慮しています。</li> <li>・職員の見守りのもと、危険な状態がない限りは、入居者が落ち着くまで待つ姿勢を大切にしています。</li> </ul>			

ケアサービス

番号	項	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

運営体制

番号	項	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質の向上に向け、法人全体として接遇委員会・広報委員会・感染委員会などを設け、職員がそれぞれの委員会のメンバーとなり、積極的に取り組んだり、必要な勉強をしています。</li> <li>・法人の朝礼では、順番にコメントを発表するなど人前で話をする機会を作り、コミュニケーション技術の向上を図っています。</li> <li>・職員は、法人の研修会に参加したり、資格取得に向けて勉強をしています。</li> <li>・問題が発生した時には、ミーティングをして原因の解明や対策を話し合い、再発防止に向けて取り組んでいます。ヒヤリハット報告を取り入れ、事故を未然に防ぐ努力をしています。</li> </ul>			